

2020

東京工業大学基金
活動報告書

Tokyo Institute of Technology Fund



Tokyo Tech

「挑み続け、未来を創る東工大」

東京工業大学基金は、多くの皆様からの温かいご支援により、成長を遂げてまいりました。この基金を貴重な財源として活用し、教育・研究・社会連携・国際交流に関する様々な環境を一層充実できますことを、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化し私たちの生活や社会の様相が劇的に変化しております。このめまぐるしい状況の変化の中でも、本学は、学生・教職員・関係の皆様の安心・安全の確保を最優先とした取り組みを、全力を挙げて行っております。

本学は、2021年に創立140周年を迎えました。創立以来、新しい発明や発見など社会に役立つ多くの科学技術や情報を発信してまいりました。指定国立大学法人として認められた本学の「科学・技術の新たな可能性を掘り起こし、社会との対話の中で新時代を切り拓く」という役割はますます重要になっております。社会と共に未来を考え、未来をリードする多様な人材の育成と学術・科学技術の発展に、これからも尽力して参ります。

このような本学の活動を通じた豊かな社会の実現に向けた取り組みを推進していくためには、財政基盤の一層の強化が必要であり、同窓生をはじめ、在校生のご家族、教職員及び企業の皆様のご支援ご協力が不可欠です。

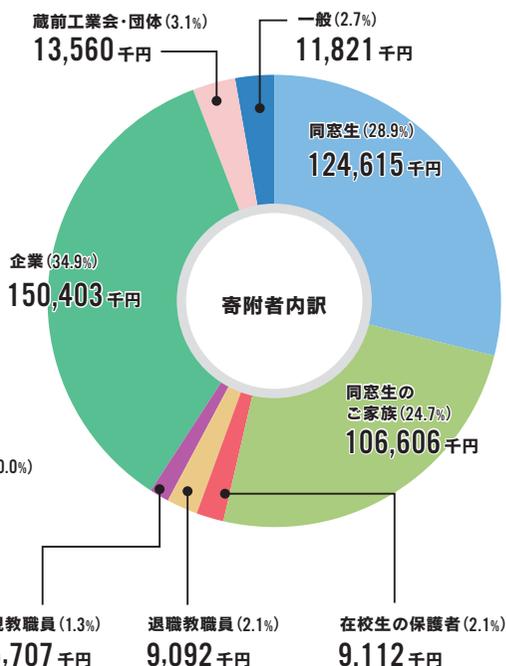
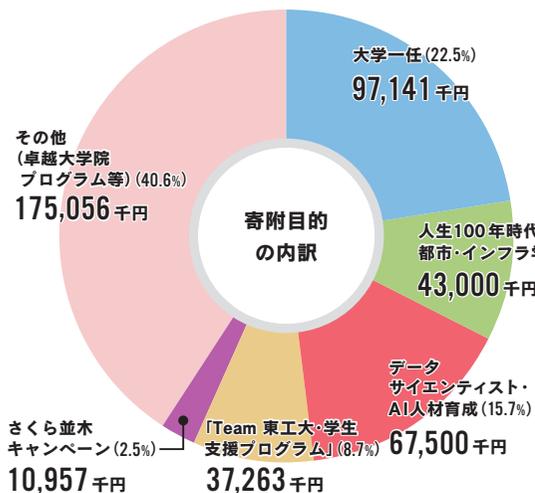
本学のさらなる飛躍のため、引き続き温かいご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



国立大学法人東京工業大学長 益 一哉

受入額 430,917,176円

2020年度の寄附金の受入額は、皆様からの温かいご支援により、約4億3千万円となりました。東京工業大学基金にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



支出額 1,758,054,394円

皆様からのご寄附は、右に示すとおり学生の修学支援や若手研究者支援をはじめとする諸事業に活用させていただきました。なお、国際交流につきましては、コロナ禍により厳しい状況となりました。

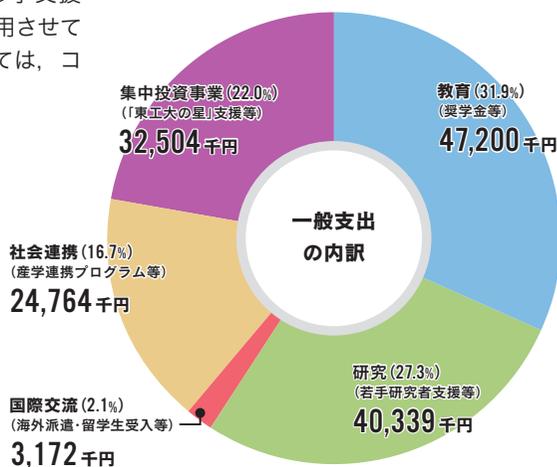
■ 一般支出

148,002,576円

■ 特別事業

1,610,051,818円

- 新型コロナ対応 32,709,341円
- さくら並木キャンペーン環境整備 2,717,000円
- Taki Plaza 1,574,625,477円



運用状況 44,030,712円

東京工業大学基金について運用を行い、約4,400万円の運用益がありました。引き続き、きめ細かく運用していく予定です。

基金残高

4,022,954,906円



修学支援基金

新型コロナウイルス感染症対策 「Team 東工大・学生支援プログラム」

未曾有の危機となった新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会への影響は想像をはるかに超え、生計維持者の収入減、アルバイト先の休業による学生自身の収入減や、受給予定であった奨学金の打ち切りなどの理由から、学修や学生生活に、長期間に渡り大きな影響を与えています。

「Team 東工大・学生支援プログラム」は、こうした新型コロナウイルス感染症の影響により、学びの継続の危機を抱えている学生に対し、授業料等の免除に加え、奨学金の支給などを行う“学生支援プログラム”として、全学同窓会組織である蔵前工業会のご協力のもと、2020年5月からご支援をお願いさせていただきました。

多くの皆様に本プログラムの趣旨にご賛同いただき、2020年10月末時点で以下のご支援を頂戴し、東工大独自の奨学金として多くの学生を支援することができました。皆様からの温かいご支援に感謝申し上げます。

今後も、本学は、学生の『学びの継続』の確保に向け、全力で取り組んで参りますので、修学支援基金へのご支援等、引き続きよろしく願いいたします。

寄附額

2020年5～10月

663件 37,263,000円

支援実績

- 給付型奨学金
70名 総額 20,900,000円
- 貸与型奨学金
6名 総額 1,650,000円

新型コロナウイルス感染症対策
Team 東工大・学生支援プログラム

～ご支援のお願い～

新型コロナウイルス感染症拡大は未曾有の危機的状況を生み、その対策は持久戦となりつつあります。本学のキャンパスが所在する東京都及び神奈川県は、特定警戒都道府県に指定されており、感染リスクが高い状況にありますが、学生の皆さんの修学環境の確保に、教職員一丸となって取り組んでおります。

しかし、コロナ禍の影響は予想以上に大きく、アルバイト等がなくなり、学費や生活費の支弁に困窮する、更には大学生活の維持そのものが難しくなる学生も出ております。

こうした学生を支援するため、この度、新型コロナウイルス感染症対策<Team 東工大・学生支援プログラム>を創設し、特別奨学金制度の設立、授業料納付期限の延長、在学期間の延長に伴う授業料免除等を実施いたします。

日頃より東工大を支えてくださっている皆様におかれましては、本プログラムの趣旨にご賛同いただき、非常に厳しい状況の学生たちをご支援くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

*2020年5月18日現在
東京工業大学長
益 一哉

……………

～同窓会としてご支援のお願い～

この度、新型コロナウイルス感染症拡大という見えない脅威の中で、不安な日々を過ごす東工大生の修学環境を維持・確保し、経済的に困窮する学生を支援する<Team 東工大・学生支援プログラム>に、同窓会としても賛同・支援したいと思っております。

母校である東京工業大学を応援するために、「Team 東工大の一員」として、皆さまからの温かいご支援をお願い致します。

一般社団法人蔵前工業会
理事長 石田 義雄

プログラム案内チラシ

感謝の声



感謝の声一覧



JAFAR TEHRANI Mohammadさん / 生命理工学院

As a doctoral student in the school of Life Science and Technology, doing research on structural characterization of amyloid beta fibrils associated with Alzheimer's disease, I received the Urgent Financial Support for Tokyo Tech Students supported by the Tokyo Tech Fund. It was really a great help as it could assist me to manage my life better financially when I had faced great delay in receiving my research salary and had been struggling with financial hardship. It really enabled me to continue my research with relief and I really wanted to appreciate all ladies and gentlemen who donated and organized such great financial support. At the end, I wish good health, happiness, and success for all.



Liu Kexinさん / 環境・社会理工学院

First of all, I would like to thank the people who have donated to the Tokyo Institute of Technology Found. Thank you very much for your financial help in my study life. Currently I am doing research on transport information and services using Twitter data mining in the disaster response stage. My research presented a solution based on an embedding BERT topic model and topic-based sentiment analysis. By comparing the model results of public and official side, we can match information released by the official accounts and foreigners' accounts. Topic-based sentiment analysis was used to evaluate perceived service quality, which can reflect priority maintenance by relevant operators. The proposed solution can be applied to similar disasters in the future to provide valuable complementary advice in disaster response stage.



小埜功貴さん / 環境・社会理工学院

私は本学で若年男性の生きづらさと男性アイドルを愛好する男性ファンの快樂について調査・研究を行っています。昨今の新型コロナウイルスの影響で当初予定していたフィールドワーク先や方法論などを変更せざるを得ない状況となり、また、家庭の事情も相まって経済的な問題に見舞われました。そのなかで、この緊急奨学金に申請させて頂いて、継続して研究活動を無事に行うことができました。私のもとに降りかかってきたコロナによる諸問題は多くの男性にとっての生きづらさに繋がっており、今後の研究ではこれについても射程に入れていく予定です。



詳細記事

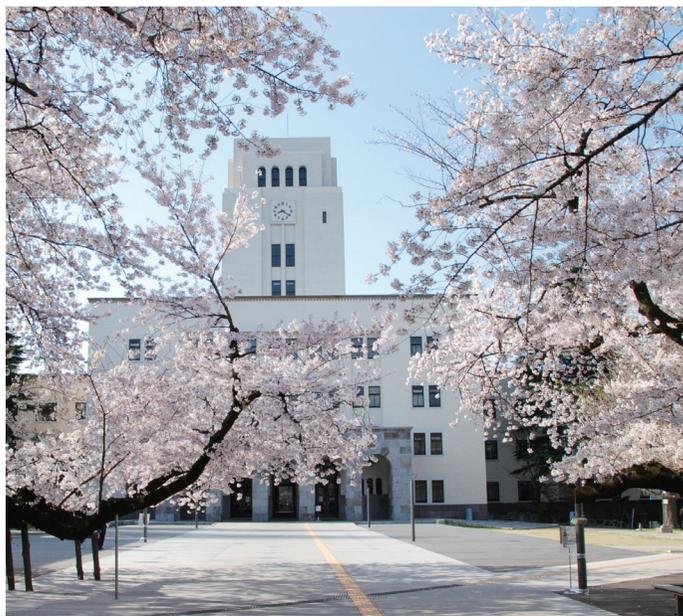
「さくら並木」キャンペーン

大岡山キャンパス本館前のウッドデッキにある桜並木は、1950年の東工大卒業生が発起人となり当時樹齢10年の苗木を植樹したものです。

この桜並木が、樹齢80年以上の老木となり、樹木医の診断では更新計画が必要と報告されました。こうした状況を踏まえ、桜並木の延命および次世代の桜を植樹することを目的として、2020年4月より10月まで「さくら並木」キャンペーンを実施いたしました。

多くの皆様の温かいご支援のおかげで、総額10,987,000円（513件）が寄附され、このご芳志をもとに、2021年3月12日、大岡山キャンパス本館前ウッドデッキ周辺に新たな桜の苗木を植樹いたしました。

また、3月30日には、寄附いただいた方のご芳名を刻んだ「東京工業大学基金 さくら並木キャンペーン 寄附者御芳名」銘板を設置し、満開の桜の中で除幕式を行いました。



本館前桜並木



桜植樹



桜苗木

Hisao & Hiroko Taki Plaza 竣工



Taki Plaza HP



学生交流支援基金

東京工業大学大岡山キャンパス正門付近に、学生のための国際交流拠点「Hisao & Hiroko Taki Plaza（ヒサオ・アンド・ヒロコ・タキ・プラザ 以下、Taki Plaza）」が完成しました。東工大卒業生で株式会社ぐるなび取締役会長・創業者である滝久雄氏の寄附を受け、株式会社隈研吾建築都市設計事務所の設計のもと、構想から約4年の歳月を経て誕生しました。大岡山キャンパスに息づく“丘”の文化の特徴を捉えた階段状のフォルムが特徴的なTaki Plazaは、地上3階・地下2階、延床面積約4,900平方メートルの広々とした空間を作り出しました。多くの学生が集い、学生主体の“つながる場”を実現します。

また、Taki Plaza内での学生が自ら企画する交流イベント、留学フェア等の活動をはじめ、大学全体における学生間の交流を推進し、世界に羽ばたく東工大生を育てることを目的として、「学生交流支援基金」が設立されました。

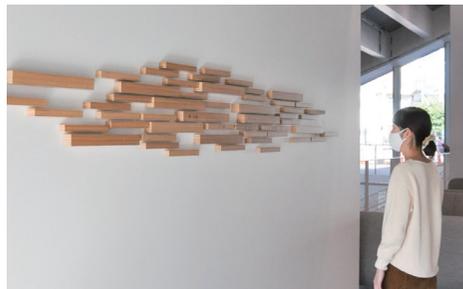
今後、Taki Plazaにおける幅広い活動に期待が寄せられています。



Taki Plaza 全景



パブリックアート除幕式



学生交流支援基金 寄附者銘板

教育

～卓越した教育研究活動により優秀な人材を社会に輩出するために～

奨学金の充実

意欲と能力がある学生に、希望する教育を受けられるよう、本学独自の給付型奨学金制度を実施いたしました。

54名 32,700千円

手島精一記念奨学金	9名
青木朗記念奨学金	6名
草間秀俊記念奨学金	5名
大隅良典記念奨学金	25名
三原正一記念奨学金（女性活躍・海外留学）	5名
パラマウントベッド奨学金	2名
太陽誘電奨学金	2名

【感謝の声】

手島精一記念奨学金
笹田直良さん / 工学院



手島精一記念奨学金に採用していただき、とても感謝しております。私の家庭は、大学院生の兄がおり、私と兄二人分の進学費用を両親に負担をかけてしまう状況となり、大変心苦しくありました。しかし、奨学金に採用していただけたお陰で、

両親の負担を減らすことができました。さらに、金銭面の不安を大きく解消できたことで、勉学や課外活動に打ち込むことができ、専攻している学問の知識や、サークル活動などにおける経験を得ることができました。これからも、ご支援して下さる方々への感謝を忘れずに、勉学や課外活動などに励んでいきます。

大隅良典記念奨学金
柳田涼華さん / 情報理工学院



私の家庭は経済的にあまり余裕がなかったため、当初はJASSOの給付奨学金と貸与奨学金を併用することで学費を工面することも視野にいれていました。しかし私の入学年度から当奨学金の対象者が拡充され、更に奨学生として採用して頂いたことで、奨学金のみで大学生活に必要な

お金のほとんどを賄うことができおり、心から感謝しています。現在は数理・計算科学系に所属し、大学では数学や情報科学を中心に、サークルではアプリやwebサービスの開発を勉強しています。学んだことを将来研究・開発成果として社会に還元することで、奨学生として採用して頂いたことへの恩返しができたらいいなと考えています。

課外活動支援

サークルでいきいきと活動する学生たちを応援するため、本学の大学生らが運営する公認サークルの活動に対し、支援を実施いたしました。

3,636千円



全日本インカレに遠征したヨット部



疾走する東工大クルー



ロス・ガラチェロス

研究

～理工系のトップユニバーシティとして最先端の研究活動をリードするために～

「東工大の星」支援【STAR】

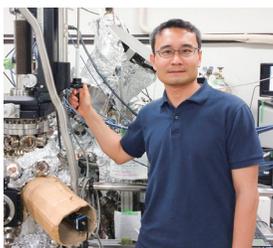
将来、国家プロジェクトのテーマとなりうる研究を推進している若手研究者や、基礎的・基盤的領域で顕著な業績をあげている若手研究者に対し支援を実施いたしました。

2名 7,591千円

【感謝の声】

「東工大の星」支援受賞者

平原徹准教授 / 理学院



私は超伝導という、物質の電気抵抗がある温度(超伝導転移温度)でゼロになる量子現象を研究しております。通常物質を薄くしていくと超伝導は起きにくくなりますが、この常識に反し、厚さが数原子層の物質でもそれを支えている基

板の効果によって普通の分厚い物質よりも高い超伝導転移温度を示すものが見つかりました。そこで本研究ではその起源を解明し、原子層物質で高い転移温度を示すものを作製する原理を確立したいと考えております。本研究は基礎研究ではありますが、SDGsなどの実現に向けて遠い将来に人類の生活にも役に立つ可能性があり、それに向けて本支援をもとにより一層研究に励んでいく所存です。この度の寄附に大変感謝しております。

熊谷悠准教授 / 科学技術創成研究院



計算機の大幅な進歩により、物質中の電子を対象に量子力学の基本方程式を解くことで、実験を行うことなく物性を予測することが可能な時代となりました。私はこの理論計算を用いて、数多くの物質の特性を系統的に計算し、それらをデータベース化する取り組みを行っております。さらにそれらの情報と機械学習を組み合わせることで物性の予測や、未知の物理・化学現象の発見、新材料の開発の実現を目指しています。今後は本支援を最大限有効活用し、この新たな材料研究の潮流をより一層作り出していただければ、と考えています。東工大基金の寄附者の皆様に、心より御礼申し上げます。

それらをデータベース化する取り組みを行っております。さらにそれらの情報と機械学習を組み合わせることで物性の予測や、未知の物理・化学現象の発見、新材料の開発の実現を目指しています。今後は本支援を最大限有効活用し、この新たな材料研究の潮流をより一層作り出していただければ、と考えています。東工大基金の寄附者の皆様に、心より御礼申し上げます。

末松賞「デジタル技術の基礎と展開」支援

将来の基盤技術としてのデジタル技術に関心を持った若手研究者の育成と、コンピュータ、ロボティクス、ネットワーク技術等の活用に関する研究に幅広い支援を実施いたしました。

3名 1,702千円

【感謝の声】



末松賞「デジタル技術の基礎と展開」支援受賞者

原祐子准教授 / 工学院

Internet of Things (IoT) において、ネットワークに接続された多種多様な機器をリアルタイムに制御するためのデジタル回路の設計技術を研究開発しています。これまでは、対象の処理に特化したデジタル回路設計を行うことで高速化を実現してきましたが、再利用性を低下させるという問題がありました。本研究では、IoTにおける様々な組み合わせ最適化問題(ロボット制御や経路探索等)に着目し、効率良く最適化問題を解けるデジタル回路を実現することで、これまでの高速化と再利用性の相反する課題の解決を目指します。採択いただいたことを励みにし、本支援を活用してより一層研究を推し進めていく所存です。

大隅良典基礎研究支援 3名 1,749千円

長期的な視点が必要な基礎研究分野における若手研究者支援を目的として、研究費の支援を実施いたしました。

【感謝の声】



「大隅良典基礎研究支援」採択者
相馬拓人助教 / 物質理工学院

私は電子を二次元に閉じ込めた際に起こる新しい物理現象を探索するという基礎的な研究を行っています。これは超伝導のメカニズムなど、将来の応用に繋がるポテンシャルも持っています。しかしながら、私はつい2年前まで本学の学生であった若輩者であり、近年の情勢では若手しかもこういった基礎研究に対して研究費を獲得することはほとんど困難になってきております。そのため、今回のような援助を頂くことはこのような支援が東工大に存在しなかったら確実に不可能でした。頭に思い描いていた研究のアイデアを実際に進めることができ、非常に助かっています。感謝すると共に、良い研究成果を創出していくことで東工大や社会に還元していく所存です。

異分野融合研究支援 2チーム 7名 3,479千円

学内における研究分野の多様性を生かした異分野融合研究を推進するため、東工大リサーチフェスティバル（Tokyo Tech Research Festival 2018, TTRF）などから生まれた分野を横断する研究チームに対する支援を実施いたしました。

【感謝の声】



異分野融合研究支援採択者
藤枝俊宣准教授 / 生命理工学院

この度は異分野融合研究支援に採択頂きまして厚く御礼申し上げます。本研究では、映画「ミクロの決死圏」のように体内に微小な「手術室」を送達することで、光などの物理エネルギーを利用したがん治療システムの創製を実現します。具体的には、光照射にて徐放可能な薬剤担持ハイドロゲルを埋め込み型の発光デバイスに搭載し、体外からの無線通信にて光量を調整することで抗がん剤の放出挙動を精密に制御します。バイオ・ケミストリー・エレクトロニクスの異分野融合領域を開拓する本研究チームは、本邦の医理工学を牽引する若手研究者から構成されています。斬新な発想と挑戦的な研究姿勢のもと革新的な医療機器の開発を目指します。

国際交流

～国際的教育・研究環境の構築のために～

様々な留学の機会（受入・派遣）を学生に提供するための支援を実施いたしました。

海外派遣支援 2名 420千円 短期留学生受入支援 3名 2,752千円

〔 学術交流協定校への派遣交換留学生支援(学資金) 2名 〕 〔 GSEP-G奨学金 3名 〕

コロナ禍を受けた特別な対応として、以下の支援を実施いたしました。

国際交流(新型コロナ対応) 147名 10,759千円

〔 派遣学生帰国支援 2名 〕 〔 留学生受入(水際対策)に係る経済的支援 145名 〕

社会連携

～優れた研究成果を還元し、社会課題の解決を図るために～

産学連携プログラム

4プログラム 21,433千円

多くの企業に参画していただき、社会課題解決型の産学連携プログラムを推進いたしました。その成果を社会に還元すべく、活発にワークショップ・公開シンポジウムを実施いたしました。



「人生100年時代の都市・インフラ学」活動の様子



「データサイエンティスト・AI人材育成」活動の様子

- 寄附プログラム「人生100年時代の都市・インフラ学」
- 寄附プログラム「データサイエンティスト・AI人材育成」

- 寄附プログラム「アストロバイオロジー」
- JCHM（腸内環境全容解明）プログラム

理科教育振興支援

12件 3,156千円

将来のものづくり（STEM）人材の裾野拡大を促進するため、小・中・高校生を対象とした知的創造性を育む活動を支援いたしました。



本学主催イベント支援

1件 175千円

本学が主催した、イベントを支援いたしました（スパコン2020）。

施設整備等

～世界に誇れる豊かで魅力的なキャンパスを目指して～

Hisao & Hiroko Taki Plaza

1,574,625千円

大岡山キャンパス正門入り口付近に、学生のための国際交流拠点となる東工大の新たなランドマーク「Hisao & Hiroko Taki Plaza」が完成いたしました。



正面外観

さくら並木キャンペーン

2,717千円

大岡山キャンパス本館前に苗木を植樹いたしました。次年度以降はずかけキャンパス等、活用を予定しています。



寄附者銘板

その他の活動

コロナ禍により、「感謝の集い」及び「相続・遺贈セミナー」は、開催を見送らせていただきました。

カレンダーキャンペーン募金の実施

カレンダーキャンペーンは、主に新生の保護者や卒業生を対象に寄附依頼を行い、キャンペーン期間中に一定額以上ご寄附いただいた方に、特典として名前入り東京工業大学オリジナル卓上カレンダーを進呈いたしました。



ご寄附いただいた方への謝意

芳名刻印レンガの設置

個人30万円以上、法人100万円以上のご寄附をいただいた方には、芳名刻印レンガを大学施設内に設置いたします。2020年度は、新たに71件の芳名刻印レンガを設置しました。



紺綬褒章の授与

個人500万円以上、法人1,000万円以上のご寄附をいただいた場合は、国からの紺綬褒章の授与の対象となります。2020年度は、個人4名、企業1社の申請を行いました。



東工大基金へのご支援のお願い

インターネットによるご寄附

東工大寄附サイトのweb申込フォームからお申込みください。

<https://www.titech.ac.jp/giving/>



東工大基金 で 検索

インターネット
募金

郵便局・銀行振込

東工大社会連携課までご連絡ください。必要書類をお送りします。



振込用紙申込

東京工業大学社会連携課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1

TEL : 03-5734-2415・2417

MAIL : syaren@jim.titech.ac.jp



東工大基金